

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第 1286 号	氏名	中嶋 一寿
論文審査担当者		主査教授	吉浦 孝一郎
		副査教授	青柳 潔
		副査教授	大園 恵幸
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、原因不明の川崎病（KD）の発症感受性規定因子あるいは重症化因子として、<i>uteroglobin</i> 遺伝子が関わっているか否か、冠動脈病変の進展に寄与するか否かを検討したもので目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>170 名（男 112 名，女 58 名）の九州地域に住む川崎病患者 DNA を収集し、<i>uteroglobin</i> 遺伝子内の多型 rs3741240 について、一般集団対照群との遺伝子型頻度を比較検討した χ^2 乗検定、および KD 患者群における冠動脈病変進展規定因子推定のロジスティック回帰分析を行っており、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>川崎病発症に対して感受性規定因子あるいは重症化因子であると推定された <i>UG</i> 遺伝子は川崎病の発症には関与しないと結論づけた。しかし冠動脈病変進展の推測マーカーとして発熱期間を見いだしており、その考察過程も十分に論理的である。今後の川崎病発症の分子遺伝学的解析をさらに推進することが大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は川崎病発症における分子基盤の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			